



どうぞ 訪問看護をご活用ください ―訪問看護での排泄援助など―

ご依頼の多い内容に排泄援助があります。食事/生活指導、緩下剤の調整から浣腸による排泄援助まで、おひとりおひとりの状態によって援助の仕方が異なります。麻痺により腸蠕動の悪い方、水分摂取量が少ない方、血圧が低いため安易に浣腸が出来ない方、それぞれです。排泄してすっきりしたという言葉頂くのはなによりですが、看護の観察にも力をいれています。お腹の手術痕で病歴の確認、浮腫の有無、皮膚の状態、排便の性状等を目視で確認していきます。なかでも、お話し好きの看護師が収集する情報は、例えば気持ちが沈み食事を抜いてしまっていた、食事制限のある方が知らぬ間に禁忌食物を食べていたことに気付いた、消費期限が丸5年すぎた瓶詰めを食べてお腹を壊されたなど様々!!!!。

どのようにしたら、ご利用者にベストかを 主治医、連携各所としっかりと考えサポートいたします。

●訪問看護 空き情報

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	△	△	△	○	×	—
午後	×	△	△	×	△	△	—

●訪問リハビリ 空き情報

	月	火	水	木	金	土	日
午前	×	△	×	△	×	△	—
午後	△	×	×	△	×	△	—

※△印はご相談ください（2021年7月現在）

◎ 最近、頂いたうれしい言葉 🎵

■仕事編

- ・「ありがとう」…互いにかけ合ううれしい言葉
- ・「〇〇さんが来るのを楽しみに待っているだ」
- ・「ヘモグロビンA1Cが、8.3から6.9になったよ」
- ・「異常なし」
- ・「大丈夫。自分でやるよ」自分のことは自分でやるという気持ちが込められた言葉。

利用者さんが前向きになっているときはうれしい

■プライベート編

- ・「瞳がきれい」
- ・「実は授かりまして」お子さんより
- ・「いい名前だね」親のつけてくれ自分の名前
- ・「めっちゃ楽しかった」遊びに連れてった子供からの言葉
- ・「梅雨が明けたよ」
- ・「欲しいもの買いな」2つのうちどちらかを買うか迷っていた時、夫が言ってくれた

◎最近の訪問看護で気になった疾患をクローズアップしてみました。

■胆嚢炎・胆管炎（たんのうえん・たんかんえん）

「胆嚢炎・胆管炎」とは

胆嚢炎・胆管炎とは、胆嚢や胆管に細菌が感染して起こる病気で胆嚢結石、胆管結石、胆泥（胆汁中の結石となる前の泥状の浮遊物）と合併する場合がほとんどです。しかし、明らかな結石がなくても胆嚢炎あるいは胆管炎が起こることもあります（無石胆嚢炎）。胆管は十二指腸とつながっていますので、逆行性に腸より大腸菌などの細菌が流入して炎症がおきることが多いと考えられています。

「胆嚢炎・胆管炎」の症状とは

胆嚢炎・胆管炎の症状は、右上腹部の痛み、黄疸、発熱が見られます。さらに、症状が悪化すると、胆汁中で繁殖した細菌が血行性に全身に広がる敗血症、DIC（出血が止まらなくなる状態）を併発して、意識状態が悪くなったり、ショック状態（血圧が下がる）となることもあります。



「胆嚢炎・胆管炎」の診断は

胆嚢炎・胆管炎の診断は、採血で著明な炎症所見（CRPの高値、白血球の増多）が見られます。また、胆道系酵素（アルカリフォスファターゼ、γ-GTPなど）が優位に高値をしめす肝障害のパターンをとります。腹部超音波やCT検査で胆嚢の状態を観察して、胆嚢炎の原因を探ります（結石、腫瘍など）。また、胆嚢の周りの膵の有無、腹膜炎を併発しているか否かを検索します。

「胆嚢炎・胆管炎」の治療は

原則的に絶食とし、抗生剤の点滴をします。血液データや腹部超音波やCT検査で、保存的治療のみでは困難と判断した場合には、胆嚢を針でさして膵を出したり、膵を出すために管を入れることもあります。胆管炎の場合は原因となっている結石をERCPに引き続いて、碎石、除去します。また、肝臓の中にある胆管へ針を刺して膵を体外にドレナージ（排出）することがあります。胆嚢炎、胆管炎は敗血症、DICを併発して、急速に重篤（じゅうとく：症状が非常に重いこと）な症状を呈する場合があります。特に、高齢の方は、症状が比較的乏しいのにもかかわらず、受診時にすでにかなり重症の状態となっている場合があるので、特に胆石症と診断されている方で、右上腹部痛、発熱などの症状が出現した場合には早期に受診して治療を受ける必要があります。引用：健康長寿ネット 高齢者の病気より

■あとがき

夏場の訪問看護では、発熱・嘔吐・食欲がなんとなくない・胃もたれがする・便秘がおかしい…受診をして頂いた時に、尿路感染、誤嚥性肺炎、熱中症とともに結構な割合で胆嚢炎を診断されて入院治療になられることがあります。食生活・生活リズム・水分摂取量の不足だったり、、原因は様々です。と、偉そうに書いている私も胆管炎を起こして3週間も入院した一人です。私は、更年期、肥満、過食と なるべくしてなってしまうところがあります。食生活を見直し、約20キロ痩せました。しかし待っていたのはリバウンド、まさに3回目のリバウンドでした。自分史上最大の体重となりましたが、今回、皆さまに宣言することで悔い改めて正しい食生活を過ごしたいと思います。私同様のお悩みを抱えた皆様には、よりいっそうご自愛願ひ、健全な体調で日々お過ごし頂きたいと思います。（担当：T）

かもめ訪問看護ステーション

〒292-0036 千葉県木更津市菅生 689
TEL：0438（97）3371 FAX：0438（30）5165

<http://rouken.kisarazu-kamome.com/service/>